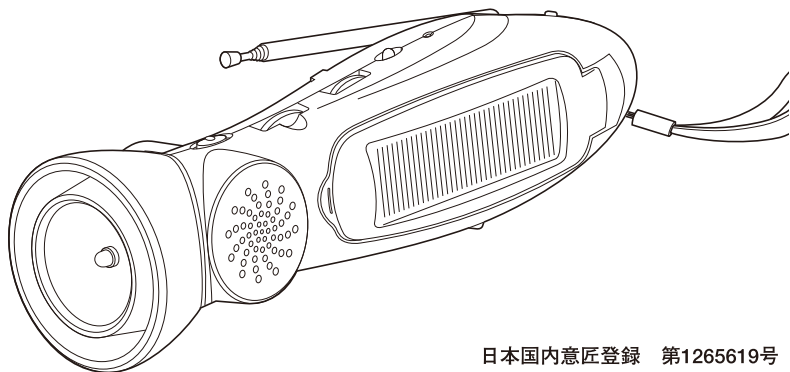


スターリング ターボ

取扱説明書



日本国内意匠登録 第1265619号

このたびは「スターリングターボ」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないように大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

- 点灯中のLEDライト及び蛍光灯を直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオやサイレンは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 本製品を修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れるおそれのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものを混ぜたり、アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置しますと、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

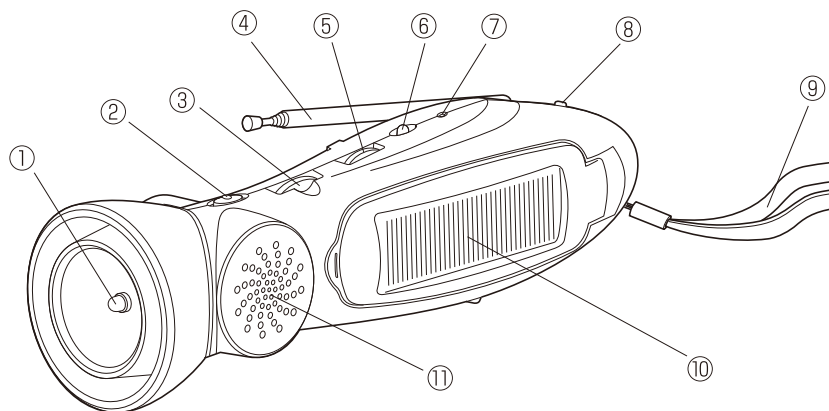
スターリングターボ取扱説明書

も く じ	1
1.基本機能	2
2.各部名称	2
3.付属品名称	3
4.電 源	4
5.電源の切り換えについて	4
6.乾電池の入れ方	5
7.ダイナモハンドルの使い方	6
8.太陽電池による充電をするには	7
9.AC/DCアダプター(別売)のご使用について	8
10.LEDライト/ランタンを使うには	9
11.ラジオ(FM/AM)を使うには	10
12.サイレンを使うには	11
13.イヤホンを使用するには	11
14.携帯電話を充電するには	12
アイフォンを充電する方法	14
Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法	14
携帯電話充電の際のご注意	15
15.各機能の使用時間の目安	16
仕 様	17
保証書・保証規定	18

1 基本機能

- LEDライト(白色) ●ラジオ(AM/FM) ●サイレン
- ランタン ●携帯電話機の充電

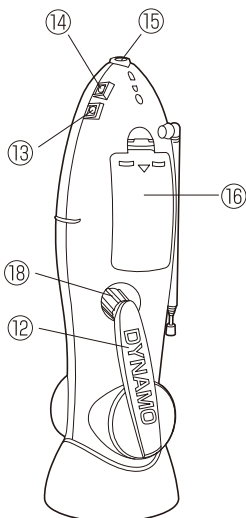
2 各部名称



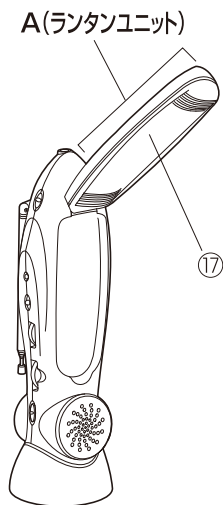
【図 A】

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ① LEDライト
:点滅灯(サイレン時) | ⑦ インジケータランプ |
| ② ライト/切/ランタンスイッチ | ⑧ 電源スイッチ
(充電電池/乾電池/電源切) |
| ③ ラジオ選局ダイヤル | ⑨ ストラップ |
| ④ ロッドアンテナ | ⑩ 太陽電池パネル |
| ⑤ ラジオスイッチ/音量ダイヤル | ⑪ スピーカー |
| ⑥ 機能切換スイッチ
(サイレン/FM/AM) | |

- ⑫ ダイナモハンドル
 - ⑬ DCアダプター端子
 - ⑭ 携帯充電端子(緑色)
 - ⑮ イヤホン端子
 - ⑯ 電池ボックスフタ
 - ⑰ ランタン
 - ⑱ ハンドルツマミ
- ※A.ランタンユニット



【図 B】



【図 C】

3 付属品名称

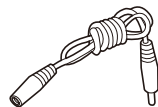
- 携帯電話充電コード 1本
- 接続コネクタ3種
 - ・ 緑ラベル…スマートフォン用(microUSB端子)
 - ・ オレンジラベル…au用
 - ・ 青ラベル…FOMA・Softbank3G用

※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。

※携帯・スマートフォンコネクタについて、電話機本体にコネクタをさしていただく場合、各色のラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下にして差し込んでください。

※オレンジと青ラベルコネクタにはツマミがあります。抜く時はツマミを押しながら抜いてください。

- ストラップ 1本
- 取扱説明書/保証書(本書)



4 電源

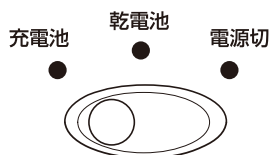
- 1.内蔵充電電池 … 内蔵ニッケル水素充電電池(Ni-MH型3.6V/300mAh)
- 2.単4乾電池×3本(別売)
- 3.ダイナモハンドル
- 4.太陽電池
- 5.AC/DCアダプター(別売)

5 電源の切り換えについて

LEDライト・ラジオ(FM/AM)・サイレン・ランタン of いずれかの機能を使う場合は、⑧電源スイッチを「乾電池」もしくは「充電電池」に合わせてください。【図1】

※携帯電話充電機能は⑫ダイナモハンドルを回している時のみ可能です。

※LEDライト・ラジオ(FM/AM)・サイレン・ランタンの機能を使わない場合は、⑧電源スイッチを「電源切」に合わせてください。



【図1】

6 乾電池の入れ方

◎単4乾電池×3本使用(別売)

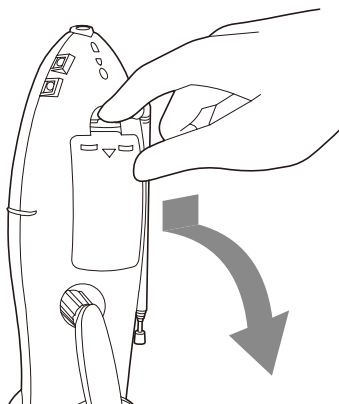
1.⑩電池ボックスフタを開けてください。【図1】

※⑩電池ボックスフタのツメを下にして、フタを取り外してください。

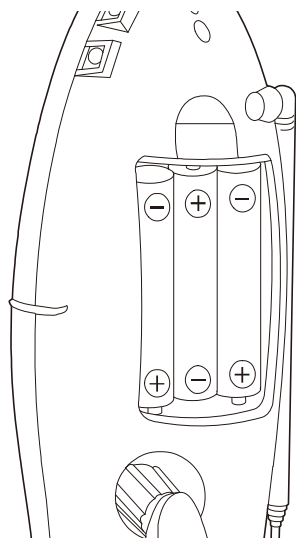
※フタは取り外し式です。紛失にご注意ください。

2.単4乾電池を3本を方向を間違えずに正しく入れてください。【図2】

※バネのある方が乾電池のマイナス側になります。マイナス側からセットしてください。



【図1】



【図2】



※アルカリ乾電池とマンガン乾電池や新旧の乾電池や種類の違う乾電池等を混ぜたりして使用しないでください。発火、破裂や液漏れのおそれがあります。

※長期間ご使用にならない場合、本機から乾電池を抜いてください。液漏れのおそれがあります。

7 ダイナモハンドルの使い方

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※ダイナモハンドルからの充電は、満充電を想定したものではありません。本体内蔵充電電池が少ない時に一時的に補充するためのものです。

1. ⑧電源スイッチを「電源切」の位置に合わせてください。
2. ⑫ダイナモハンドルを本体から立ち上げてください。【図1】
3. ⑫ダイナモハンドルの⑮ツマミをもって回してください。ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。【図2】

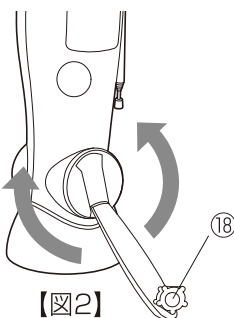


【図1】

1. ハンドルを引き寄せてください

2. ツマミを持って回してください。

※回転方向は左右どちらでもかまいません。



【図2】

※ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。

※ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。

※本体内蔵の充電電池は特性上、自然放電を起こします。放置した状態が続きますと寿命が短くなる恐れがありますので、年4～5回程度の充電を行うようにしてください。

※ダイナモハンドルの充電で、市販の乾電池およびニッケル水素電池等に充電することはできません。

※充電後、⑧電源スイッチを「充電中」に合わせてご使用ください。

※ダイナモ充電中はインジケータが赤く点灯します。



注意

ダイナモハンドルを強く押さえないでください。

ハンドルが破損する恐れがあります。



禁止

ハンドルを回す時に指をはさまないように、ご注意ください。

ケガをするおそれがあります。

8 太陽電池による充電するには

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※充電は太陽光から行います。

1.⑧電源スイッチを「充電池」の位置に合わせてください。【図1】

※乾電池やアダプターはセットしないでください。

2.LEDライト・ラジオ・ランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。

3.【図2】のようにランタンユニット(A)を立ち上げます。

4.ランタンユニット部分にある⑩太陽電池パネルを直射日光に当ててください。なるべく光線がパネル面に直角に当たるように置いてください。

※充電後は⑧電源スイッチを「電源切」の位置に合わせてください。本機をご使用になる時には「充電池」に合わせてください。

※太陽電池による充電では携帯電話の充電はできません。

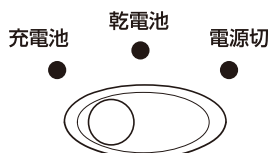
※充電時間と使用時間の目安に関しては15各機能の使用時間の目安の表「太陽電池による充電の目安」を参照してください。

※太陽電池による充電中は⑦インジケータランプが赤く点灯します。

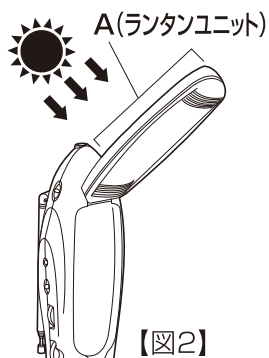
※太陽電池パネルにある銀色のラインが断線している場合がありますが、太陽電池を使用するにあたって特に問題はありません。

※太陽充電を行う場合、⑫ダイナモハンドルを100回転以上させてから太陽にあててください。より良く充電されます。

※長期間外に出さないでください。変形・変色の原因となります。



【図1】

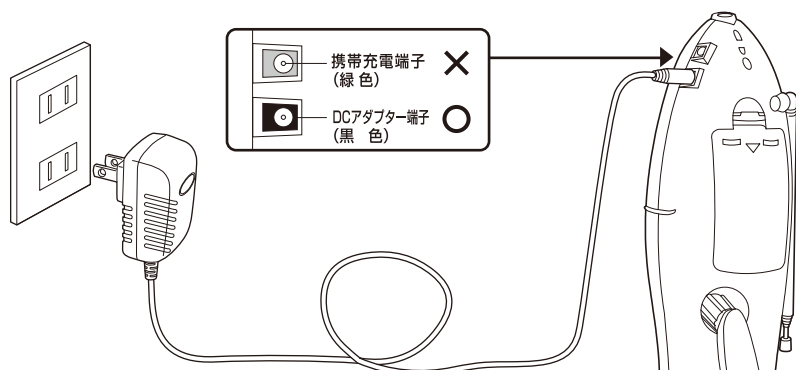


【図2】

9 AC/DCアダプター(別売)のご使用について

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

1. 当社指定の専用アダプター(品番5829)をお買い求めください。
2. ⑧電源スイッチを「充電池」の位置に合わせてください。
3. LEDライト・ラジオ・ランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
4. ⑬DCアダプター端子(黒色)にAC/DCアダプターのプラグを差し込み、図の様に家庭用(100V)コンセントに接続してください。【図1】
5. この状態で本体の充電が開始され、⑦インジケータランプが赤く点灯します。(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3時間経過しましたら、必ずコンセントから抜いてください。)



【図1】



内蔵充電電池を2時間以上充電した場合、本体側面にある内蔵充電電池が30～40度程度熱くなりますが、ご使用には問題ございません。

10 LEDライト/ランタンを使うには

1. 乾電池を使用する場合は、⑧電源スイッチを「乾電池」の位置に合わせてください。充電電池を使用する場合には「充電電池」の位置に合わせてください。

(乾電池の入れ方と充電電池の充電方法に関しては前記の6、7、8、9をそれぞれ参照ください。)

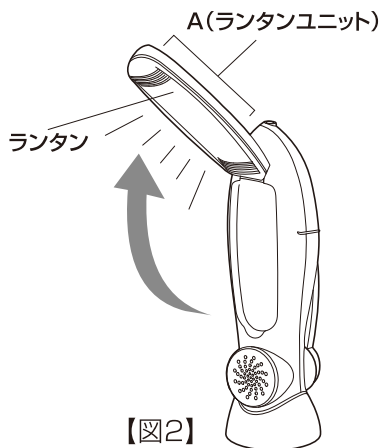
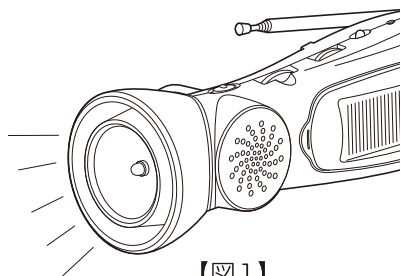
2. ②ライト/切/ランタンスイッチを「ライト」に合わせると①LEDライトが点灯します。【図1】

3. ②ライト/切/ランタンスイッチを「ランタン」に合わせると⑰ランタンが点灯します。【図2】

4. ライトおよびランタンを消す場合は、②ライト/切/ランタンスイッチを「切」に合わせてください。

※ランタンを使用する場合は、A.ランタンユニットを立ち上げてください。(2、3度カチッと大きな音になりますが、故障ではありません。)

※LEDライトおよびランタンは、交換できません。



禁止

①LEDライト及び⑰ランタンが点灯している間は、光を直視しないでください。視力障害の原因となります。



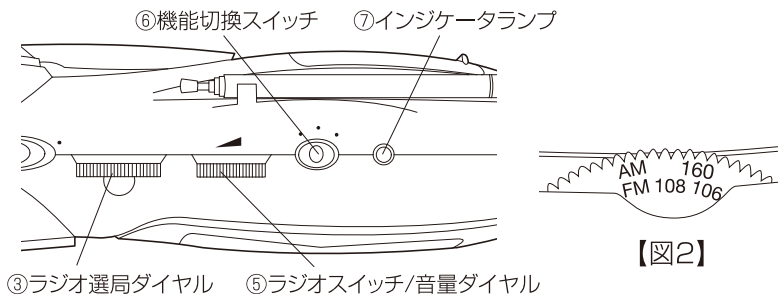
注意

A.ランタンユニットの開閉時は指を挟まないようご注意ください。

11 ラジオ(FM/AM)を使うには

- FM/ワイドFM周波数:76~108MHzの表示内で受信可能。
- AM周波数:540~1600kHzの表示内で受信可能。【図1】

- 1.乾電池を使用する場合は、⑧電源スイッチを「乾電池」の位置に合わせてください。充電電池を使用する場合には「充電電池」の位置に合わせてください。
(乾電池の入れ方と充電電池の充電方法に関しては前記の**6、7、8、9**をそれぞれ参照ください。)
 - 2.⑥機能切換スイッチを「AM」または「FM」に合わせてください。
 - 3.⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と音がしてスイッチが入ります。さらに回すと音量が大きくなりますので適当な音量に調節してください。【図1】
 - 4.③ラジオ選局ダイヤルを回して、お聞きになりたい放送局に合わせてください。周波数が適正な位置に合うと⑦インジケータランプが緑色に点灯します。【図2】
(上の列がAM周波数、下の列がFM周波数の表示になります。)
 - 5.スイッチを切るときは、⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを逆時計回りに回してください。この時「カチッ」と音がしますので必ず確認してください。この音はラジオの電源が切れる音です。
- ※音量を小さくしただけでは電力を消耗します。
(さらに、⑧電源スイッチを「電源切」の位置に合わせておくと確実です。)



【図2】

【図1】

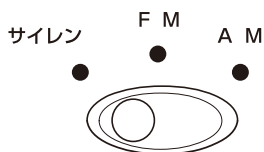


ラジオの音量の調整にご注意ください。音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かないようにしてください。大きな音は聴力障害などの原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。

12 サイレンを使うには

1. 乾電池を使用する場合は、⑧電源スイッチを「乾電池」の位置に合わせてください。充電電池を使用する場合には「充電電池」の位置に合わせてください。【図1】

(乾電池の入れ方と充電電池の充電方法に関しては前記の**6、7、8、9**をそれぞれ参照ください。)



【図1】

2. ⑥機能切換スイッチを「サイレン」に合わせてください。
3. サイレンが鳴っている間は①LEDライトが点滅します。
4. サイレンを止める場合は⑥機能切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。(さらに、⑧電源スイッチを「電源切」の位置に合わせておくと確実です。)



注意

※イヤホン装着時の注意

サイレンを使用する際には必ずイヤホンをイヤホン端子から抜き取ってください。イヤホン装着時はスピーカー音量はすべてイヤホン側に出力されます。イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。

13 イヤホンを使用するには

- ※イヤホンは付属していません。お手持ちの3.5mmプラグのイヤホンをご利用ください。
- ※お手持ちのイヤホンを利用して、⑪スピーカーから音を消して、イヤホンだけでラジオ放送をお楽しみになれます。
- ※イヤホンの先端プラグを⑮イヤホン端子に差し込んでください。あとは前記の**11**ラジオを使うにはをご覧ください。



注意

音量の調整にご注意ください。イヤホンをしたまま音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かない様にしてください。大きな音は耳の障害になるおそれがあります。

14 携帯電話を充電するには

※携帯電話の充電は、⑫ダイナモハンドルを回して行います。

※充電コードをつなぐだけでは充電できません。

※乾電池からは充電できません。

1. お手持ちの携帯電話の機種に合わせて、3種類のコネクタの中から選び、付属品の携帯電話充電コードの接続端子に差し込んでください。【図1】充電コードのもう一方のプラグを⑭携帯充電端子(緑色)に差し込みます。【図2】

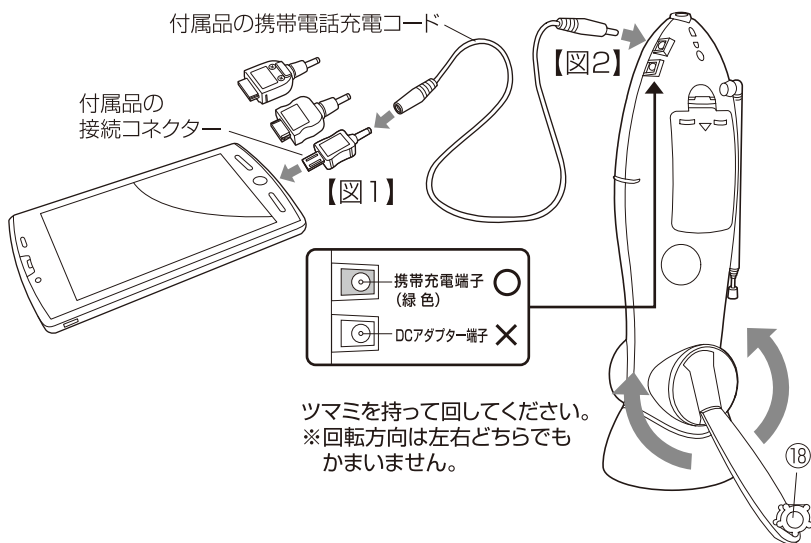


注意

※⑬DCアダプター端子や⑮イヤホン端子に付属品の携帯電話充電コードを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。また、同様に⑭携帯充電端子にイヤホンやDCアダプターを差し込まないでください。

※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。



※携帯・スマートフォンコネクタについて、電話機本体にコネクタをさしていただく場合、各色のラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下にして差し込んでください。

※オレンジと青ラベルコネクタにはツマミがあります。抜く時はツマミを押しながら抜いてください。

※付属品の緑色ラベルコネクタ（microUSBスマホ用）の金属の接合部分が半分入れば接続できています。

2.⑧電源スイッチを「電源切」の位置に合わせてください。

3.⑫ダイナモハンドルを引き出し、⑬ハンドルツマミをもって回してください。ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。

【12ページ 図2】

※ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。

※ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。

4.ハンドルを回すと携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※携帯電話機の電池残量がゼロの場合、100～200回転ほどしてからでないと充電が始まらない場合がありますので、予めご了承ください。（充電が開始されるとハンドルが少し重く感じます。）

※ダイナモハンドルの回転中はストラップにご注意ください。商品に絡まって、本体が破損したり、けがをする恐れがあります。

※充電時間と使用時間の目安に関しては、後記の15各機能の使用時間の目安の表「ダイナモハンドルによる充電の目安」を参照してください。

※携帯電話が落下して破損する恐れがあります。充電は安定した平らな場所で行ってください。



禁止

ダイナモハンドルを強く押さえないでください。
ハンドルが破損する恐れがあります。



注意

ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。

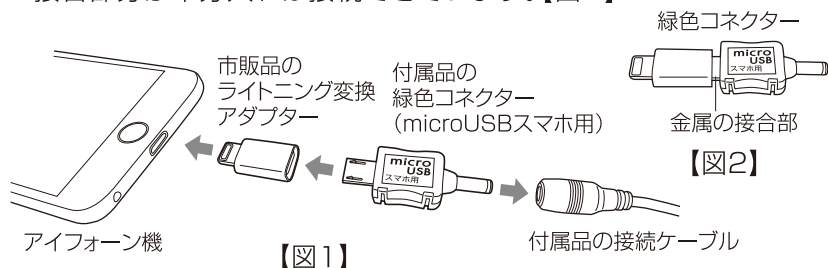
◎iPhoneを充電する方法。

※iPhone用コネクタ(30ピンタイプ及びライトニングタイプ)は付属していません。

付属品の緑色microUSBコネクタからライトニングへの変換アダプタを使用する。

※市販品のライトニング変換アダプタをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、iPhone機のライトニング充電端子に差し込んでください。【図1】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図2】



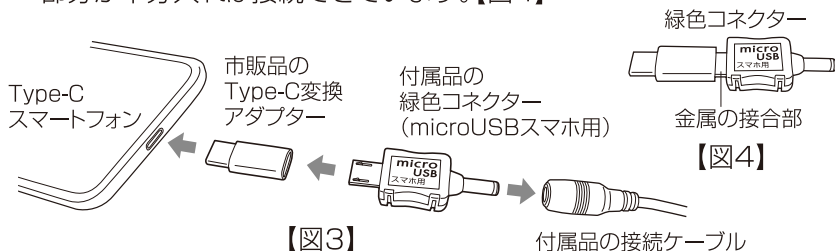
◎Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

※Type-Cコネクタは付属していません。

付属品の緑色microUSBコネクタからType-Cへの変換アダプタを使用する。

※市販品のType-Cへの変換アダプタをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図3】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図4】





禁止

ダイナモハンドルは安定したスピードで!

携帯電話を充電される際は、ダイナモハンドルを安定したペースで回していただきますようお願いいたします。携帯電話の充電ランプ(または充電中などの画面表示)が点灯しますと携帯電話に充電されています。速く回し過ぎたり、遅く回したりすると電圧/電流が不安定となり適切な充電ができなくなりますのでご注意ください。(1秒間に2~3回転が目安です)万一、携帯電話に異常が見られた場合、純正の充電器をご利用になって安定した電圧電流でしばらく充電していただきますと、通常の状態に戻ります。



注意

メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。



禁止

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いいただきますようお願い申し上げます。

○適合機種について

- PHSIには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- スマートフォンやアイフォーンを充電するとき、ハンドルを回してすぐに「このアクセサリはサポートしていません」のような表示が表れる場合があります。手巻きの場合はどうしても回転ムラにより電圧/電流が不安定となりやすく、特にスマートフォンではこのような表示がでる傾向にあります。この場合は一旦充電動作を止め、少し早めに安定したスピード(2~3回転/秒程度)で、なるべく回転ムラのないように一定のスピードでダイナモハンドルを巻きなおしてください。充電可能となります。それでも再び表示が出るようでしたら充電はお止めください。
- タブレットシリーズには充電できません。

最近のスマートフォン、アイフォーンの場合、内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、本機のダイナモ発電では充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

15 各機能の使用時間の目安

○『ダイナモハンドルによる充電の目安』

※手巻きハンドルを120回転/分のペースで回してください。

機 能	240回転(2分間)	備 考
LEDライト	約8~10分	
ランタン	約5分	2分以降、徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約30分	音量によります。
サイレン	約5分	1分以降、徐々に音量が小さくなります。
	360回転(3分間)	
携 帯 電 話	約1分	連続通話時間
	約20分	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電はハンドルを回している時のみ可能です。ケーブルをつなぐだけでは充電できませんので予めご了承ください。

○『太陽電池による充電の目安』…受光時間3時間の場合

機 能	太陽電池による充電	備 考
LEDライト	約30分	15分以降、徐々に光が弱くなります。
ランタン	約5分	2分以降、徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約30分	音量によります。
サイレン	約1~2分	1分以降、徐々に音量が小さくなります。

※太陽電池による充電では、携帯電話には充電できませんのでご注意ください。

※充電効率は太陽光の強さ、ソーラー面と光が当たる角度などの諸条件により異なります。上記の図はあくまでも目安です。

○『乾電池による使用時間の目安』

(日本製アルカリ乾電池単4×3本ご使用时)

機 能	連続使用時間	備 考
LEDライト	約8時間	徐々に光が弱くなります。
ランタン	約7時間	徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約10時間	音量によります。
サイレン	約4時間	徐々に音量が小さくなります。

○仕 様

- ・LEDライト：白色LED1灯
- ・ランタン：白色LED4灯
- ・受信周波数：AM/540～1600kHz
(ラジオ) FM/ワイドFM:76～108kHz
- ・アンテナ：AM/内蔵フェライトバー FM/ロッドアンテナ
- ・電 源：内蔵ニッケル水素充電電池(Ni-MH型3.6V/300mAh)
単4乾電池×3本(別売)
太陽電池、手巻きダイナモ、ACアダプター
- ・発 電 機：手巻きダイナモ(出力4.5V/400mAh)
双方向回転式
- ・使用温度：-10～40℃
- ・付 属 品：携帯電話充電用コード(1本)
接続コネクタ-3種類
 - ・緑ラベル…スマートフォン用(microUSBプラグ)
 - ・オレンジラベル…au用
 - ・青ラベル…FOMA・Softbank3G用取扱説明書／保証書(本書)
- ・イヤホンジャック：3.5mmジャック イヤホン(別売)
- ・本体寸法：66×66×230mm
- ・本体材質：ABS樹脂

※単4乾電池は付属していません。

※家庭電源用AC/DCアダプターは付属していません。
当社規定品のラジオライト専用AタイプAC/DCアダプター
(品番5829)を別途お買い求めください。

製品保管時のご注意

本体内蔵の充電電池は特性上、自然放電を起こします。放電した状態が続きますと寿命が短くなる恐れがありますので、年に4、5回程度ハンドル充電による充電を行うようにしてください。



※ 商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。
※ 説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

6000C-19-01